



学校だより

令和4年度6月号

文教大学附属小学校

<https://www.bunkyo.ac.jp/bkshogak/>



いつか きみの心に灯った火が！

～遠足、北アルプス、八ヶ岳自然教室を終えて～

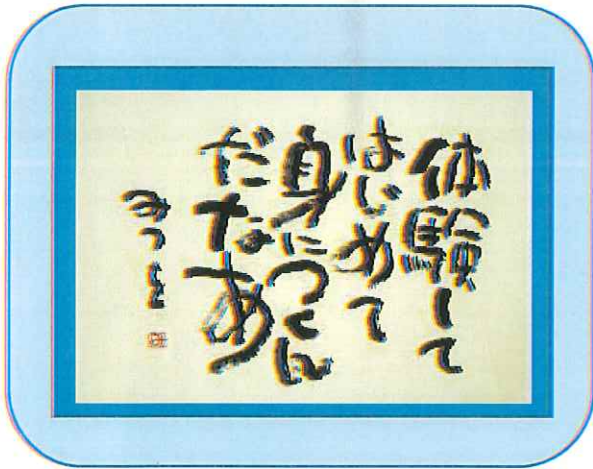
校長 島野 歩

一年生が教室の前で育てているアサガオが、初夏の陽を浴びて、可愛い芽をたくさん出しています。

「先生ー！やったー！ぼくのアサガオ！芽が出てー！」
校庭いっぱい響く大きな声！初めて自分で育てたアサガオの芽がでたときの喜び！前のめりになりながら先生に一所懸命伝えようとしているその姿がなんとも愛おしく朝から心がふっくらとなりました。「生命との出会い」・子どもたちの愛情をたっぷり受け、これからすくすく大きくなるアサガオ、楽しみです。

ぐんぐん ぐんぐん大きくなあれ！





4月、5月・・・この2か月は、本校ならではの体験学習のぎゅーっとつまった2か月でした。

4月の全校遠足、5年生6年生の北アルプス、3年生4年生の八ヶ岳自然教室。日頃から、子どもたちと体験を共にする中で願っていることがあります。

「子どもの心に火をつけたい！」

さあ、一人一人の心の中に、今、どんな火が灯っているのでしょうか。

私は、小学校5年生の宿泊で仲間とともに見た星空がいまだに忘れられません。キャンプファイアーの夜、夜空にまたたく無数の星々。その夜、私の心に灯った火は「仲間」でした。

自分の生き方や考え方が変化したり成長したりするとき。そのことには、いくつかの種類の体験が大きく左右すると思っています。

一つは、人としっかり向き合い、誠実にかかわり合うことの経験。もう一つは、言葉にならないような大自然の素晴らしさに触れ、深い畏敬の念をもつことの経験。

このことは、子どもたちの姿を見て実感するところです。

子どもたちの心に灯った火は、やがて大人になって燃え立つときが必ずきます。それまで大切に誇らしく、その火を燃え立つときまで育てましょう。私たちは、全力でその応援をしてまいります。

春の「たねやさん」

「たね」はひとつひとつ小さな生命です。

大切に育ててください！

「たねやさん」で願うこと

5月9日(月)～17日(火)「春のたねやさん」を開催しました。
春まきのたくさんの「たね」たちが、たくさんの子どもたちにもらわれていきました。

「たね」は、それぞれ形も色も全く違います。でも、ひとつひとつ小さな大切な生命。
毎年毎年、「先生、たねやさんでもらったカーネーションのお花咲きました！」「菜の花のタネが
たくさんできました！」……子どもたちの報告がとても嬉しく幸せに感じます。

「たね」を育てながら、育てているのは、実は子どもたちの心です。
なぜなら、小さな「たね」から、花を咲かせるまで、実をつけるまで育てるのは、決して容易なこと
ではないからです。毎日、お水をやったり、様子を見たり、それはそれは、お世話が大変です。
何日か、お世話を怠ると、枯れて死んでしまいます。生命だからです。

だからこそ、責任をもって毎日コツコツ こつこつ……この苦労があるから、お花が咲くと
うれしい！そして、実がなって「たね」ができると、とびあがるほどうれしい！

この経験は、子どもたちが迎えるさまざまな経験に生かされていきます。粘り強く毎日こつこつ
あきらめずに積み上げること……とても大切なこと！まさに子どもたちの心に大輪の花が
咲くことに通じるのです。子どもたちの成長を、これからも応援しています。



来週は運動会！魅せます！文教っ子魂！

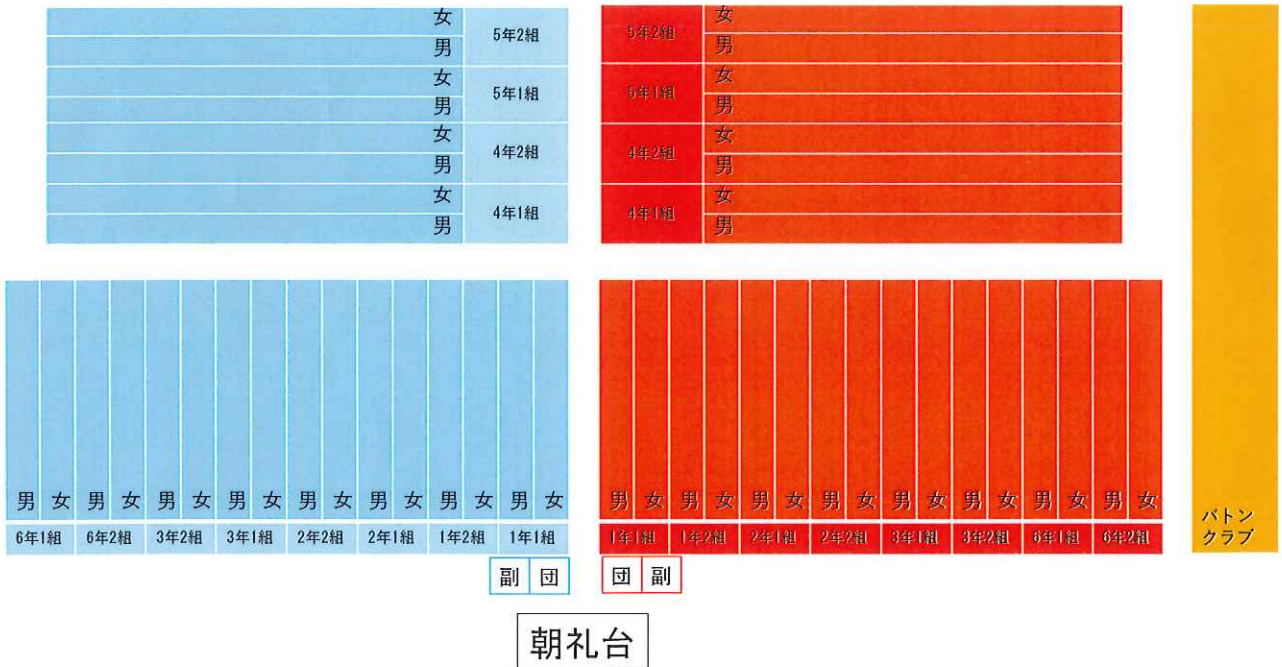
頑張る気持ちが天に届くかのように、皐月晴れの中、連日 懸命に練習に取り組む子どもたちの姿・・・素晴らしいです。来週 6月1日水曜日は、いよいよ待ちに待った運動会！
一人一人日頃の練習の成果を発揮し、生き生きと輝く姿を見せてくれるに違いありません。
子どもたちの「技」、そして高められきた「向上心」「心意気」に、どうぞ温かいご声援をよろしくお願いたします。

運動会が「日頃の学習の成果」の場である意義を踏まえ、
今ある校庭を最大限に活かしながら競技に取り組めるよう
今年度さらに改革した点をご紹介します。



その1 開会式 閉会式の整列体形

従来の横並びからボックス型並びへ！
広さを有効に使います。





その2 徒競走・リレーのコース運営

徒競走・・・従来のオープンコースからセパレートコースへ
コース上の児童同士のぶつかりによる怪我を防ぎます。
リレー・・・スタート時において、従来の3, 4コースではなく
あらたにアウトコースに5コースを作り、今回から、
2, 3, 4, 5コースを使って走ります。このこと
により、コーナーのカーブが従来よりゆるやかになり、
回りやすくなります。



その3 暑さ回避の児童ローテーション

- ① 校庭で競技をする児童
 - ② 校庭で競技を見る児童
 - ③ 室内でクールダウンする児童
- 以上ローテーションを組み暑さの中に長時間いることをなくし、暑さを回避します。



その4 水分補給の呼びかけ・水分補給タイムの確保

水分補給をアナウンスしたり、教員や高学年児童が直接呼びかけたりし、水分をこまめに補給するように促します。室内のクールダウンでは、冷房の効いた教室に入り、水分を充分にとります。

その5 応援合戦の評価

採点の公平を期すため、事務局の職員から見た客観的な審査の目で、採点を行います。



その6 ミストシャワー・強力冷却器・タープの設置

*ただしタープにおいては、安全面を重視し、風の具合でタープの設置はとりやめとする場合がありますこと、ご承知おきください。

霧状の水を吹き付け、気化熱を利用すると最大で3度冷やすことができると言われてしています。

強力冷却機とともに、ご寄付いただきましたお品を最大限活用し、子どもたちの安全を守ってまいりたく存じます。



父母の会の皆様の、このたびのご寄付に心から感謝申し上げます。

◆保護者の皆様からのアンケート(4月16日)

お声をお寄せいただき心から感謝申し上げます◆

～保護者の皆様の声・声・声(一部抜粋)～

*たくさんのお声をありがとうございます。本来であれば、いただいたお声を全て掲載させていただきたいところではございますが誌面の関係上、大変申し訳ございません。しかしながら、いただいたお声は、全教職員と全て共有させていただき、今後の教育活動に活かしていくべく検討してまいります。お声を寄せてくださいましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

○娘が「文教大好き」「学校大好き」とよく申しておりますが、学校を楽しんでいる理由がよくわかりました。一方的に教えるのではなく、問いかけ、投げかけ、共に考えながら教えてくださる先生の御指導に感銘致しました。

○子どもたちが、きちんとしている中でも、伸び伸びと楽しそうに学ぶ姿、わからないことを自然と聞ける雰囲気がとても素晴らしいと思いました。授業前のクイズで、子どもたちが楽しそうに盛り上がり、普段からの様子がよくわかりました。

○国語では、いろいろな友達と交流できるよう工夫されており、共に学べる授業であると感じました。算数では、単に答えを出すのではなく、子どもたちをひきつけ考え方を引き出していること、一人一人を見回ってくださっていることが素晴らしいです。

○授業の始まりと終わりに、教えていただく先生に、そして教えてくださった先生に、「よろしくお願いします」「ありがとうございました」の心をもつこと、ご挨拶、机に向かう姿勢、筆箱の位置にもご指導いただいていることが、大変ありがたく、またお話をされる先生の「目」を見るように気付かせる「間」を設けてくださっていることにも感動いたしました。子どもが社会に出ても困らないよう大切なことと思います。家庭でも、その日教えていただいたことを本人が大切にしていけるようサポートしてまいりたいと思います。

●WEB視聴は、直接訪問できない場合でも参加できるので、とても有難く、これからも活用を続けてほしいと思います。カメラの両角が固定されていたので、写っていないお子さんがいたようです。何か工夫があればよいと思いました。感染状況が続く中でありながらも、先生方のご尽力で参観できたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

●Zoomについて、教室内の子どもたちが全員写っていなかったようなので、設置台数を増やしたり、カメラのアングルを増やすなどすると、より良いオンライン授業参観が実施できると思いました。⇒**アイディアも含めご提案いただき、ありがとうございます。WEB配信の映像につきましては、いただいたアイディアを参考に、本校 ICT 委員会を中心にしながら、今後も工夫かつ改善を重ねてまいりたく存じます。**

○子どもたちが、次に何をやるべきかがわかっていて、自主的に学習に取り組む姿が印象的でした。先生が日常的に丁寧に指導されているのが伝わってきました。ありがとうございます。



○コロナに負けることなく、感染対応にご配慮いただき、対面での授業参観を実施していただき、本当にありがとうございました。国語と算数の2時間を参観し、深い理解につながりました。

○子どもたちが前のめり気味に勉強している姿がまぶしかったです。素直に成長しているなあと感じました。

○対面での授業参観の開催、誠にありがとうございました。自身の学生時代とは違う電子黒板などを目の当たりにし、素晴らしい環境で子どもは学んでいることを実感しました。

●廊下からの参観でしたので、廊下から一番遠い座席の我が子の様子はかろうじて見える状態、授業で使用しているホワイトボードは光の関係で見づらく、先生の声もところどころ聞きづらい場面もあり、「ああ、教室に入りたくない」という気持ちを抑えての参観でした。しかしながら、このような状況下で来校型で授業参観を実施していただいたこと、大変うれしく思います。いつの日か、保護者が教室の中で通常通り参観できる日を楽しみに待ちたいと思います。

⇒感染防止の観点から、廊下からの参観とさせていただきましたが、上記のお声は、おっしゃる通りであり、お子様の頑張りが見づらく聞きづらかった点、大変申し訳なく存じます。感染の状況を見ながら、子どもたちの安全を第一に、保護者の方にもなるべく最大限満足していただける形を工夫してまいります。

●算数の授業を見ましたが、児童間での理解の差が大きく、効率よく学習を進めることが難しいと思いました。理解不足の児童には、補習等でフォローしていただき、授業はもう少し早いペースで進めてもらいたいです。

⇒算数は、個々人の理解において差が出やすい教科の特質がありますが、一人一人の理解の進捗に合わせ学習を進めていくこと、一方では自分以外の考え方から多くの刺激をもらい、数学的思考方を深め広げていけること、この両面が向上していけるよう、担任と算数少人数教諭とで連携しながら指導を工夫してまいります。

○クラス全体が生き生きとしていて、互いの考えを聞くという姿勢を学んできていることがとてもよく伝わってきました。「自分では思いつかない考えもあったね。」と先生が伝えてくださったことにより、考え方全てが間違いではなく、新しい発見へと子どもたちの顔つきが変化していったことが印象的でした。成長の程度には、個人差がある中でも、先生の導く一言に子どもたちも敏感にキャッチして、信頼関係の証であると感じました。授業参観を実施していただきましたこと、心より感謝申し上げます。

～学校公開アンケート結果～ 回答数 298/330 回収率 90%

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 1 子どもは、学習に集中して取り組んでいる。 | 93.4p |
| 2 子どもは、学級でまとまって楽しく活動している。 | 95.8p |
| 3 子どもは、挨拶などの礼儀を身に付け落ち着いている。 | 94.6p |
| 4 教師は、授業展開を工夫し、学力向上の努力をしている。 | 96.2p |
| 5 作品や掲示物が工夫され、学習環境が整っている。 | 96.1p |
| 6 教室は整理・整頓され、廊下などの清掃が行き届いている。 | 97.3p |

◆集計方法：4：そう思う（100P） 3：ややそう思う（75P）

2：あまりそう思わない（25P） 1：思わない（0P）

$$P \cdot \cdot (4 \text{ の総数} \times 100 + 3 \text{ の総数} \times 75 + 2 \text{ の総数} \times 25 + 1 \text{ の総数} \times 0) \div$$

有効回答数

6月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
			1 運動会	2 運動会予備①	3 東京地区 教員研修会	4 運動会予備②
5	6 運動会予備③	7 Tokyo Global Gate Way	8	9 ブリティッシュヒルズ 集まり	10 4年生社会科見学	11 休業日
12	13 内科検診 5. 6年水泳教室	14	15	16 歯科検診 ブリティッシュヒルズ 集まり	17 第1回漢字検定試験	18 第2回学校説明会 B時程2時間授業
19	20 3, 4年水泳教室	21	22	23	24 研究授業⑤4-1⑥6-2 他学級B時程4時間	25 休業日
26	27	28 避難訓練	29 第3回学校説明会 B時程4時間午前中授業	30 ブリティッシュヒルズ 集まり		

6月の生活目標

重点目標 〈文教っ子ハケ条 第3条 素直な気持ち、謙虚さをもって人に接すること。〉

◎ 場所や天候を考えた遊び方をしよう

◎ 自分の仕事をしっかりやろう

- ・廊下は右側を静かに歩く。 ・ロッカーの中を整理・整とんする。
- ・係や当番を責任をもって行う。

◎ 素直な気持ち、謙虚さをもつということ 〈文責：教頭 田中 宏一〉

先日1年生の皆さんが、担任の先生と一緒に、昼食時に飲む牛乳券を出す場所の確認に職員室前に来ていました。今までは、担任の先生が出していたその日の牛乳券を一年生の皆さんが係のお仕事として出してくれるようになるのでしょうか。頑張ってほしいと思いました。

文教大学付属小学校では、皆さんに学級の係や学校全体に関係する当番を皆さんに割り振ってやってもらいます。なぜ、皆さんに係や当番を割り振るのでしょ。それは『自己存在感』を感じるためです。自己存在感とは、自分は価値ある存在であるということです。あなたは『文教小学校の中で必要な人です。』ということです。みなさん一人ひとり、みんな違いますが、誰一人として、いてもいなくてもいい人はいないということです。全員が必要な人だということを表しています。

どの役割も、学校の中で大切な仕事で、うっかり忘れてしまうと、周りの友達が困ってしまうことになります。なので、当番の人が学校をお休みしたときには、代わりの友達がする約束も、決まっていると思います。今月は、「◎自分の仕事をしっかりやろう」が生活目標のひとつとなっています。自分の仕事をいつも以上に意識をして、自分がいるから、みんなが困らなかつたのだと、感じてほしいと思います。

また、各ご家庭でも『自己存在感』を感じる機会があればと思います。ご家庭で相談していただいて、お子様に、家の中での役割を与えてやってください。お子様自身が家族の中でも、学校のなかでも必要な存在と思える場が増えて意欲的な姿を学校でみせてくれることを期待しています。



登下校時における電車でのマナーにつきまして

先日、ご近隣の方より、本校児童の電車のマナーについてご連絡をいただきました。

電車内でのおしゃべりや優先席付近での対応等、ほとんどの児童がマナーを守って乗車している中、一部の配慮に欠ける言動において、一般の方にご迷惑をかけている状況があるとすれば、本当に申し訳なく思いました。

学校でも指導を重ねたところでございます。ご家庭でもひきつづきご指導くださいますよう、よろしくお願ひいたします。